

## 2015年12月から適用される新CCRの概要

2015年3月26日 4月1日, 10月22日 (改訂)  
PMI 日本支部事務局

PMI 発表の「2015年12月から移行・適用される新CCR」についての概要。  
PDU に PMI が提唱しているタレント・トライアングル[図 1] の視点 (サブ・カテゴリー\*1) が導入され、CCR 期間中の 60PDU (資格によっては 30PDU) は変わらないものの、申請可能な内訳が変更されます。

☆ 主旨：実践力を伴ったプロフェッショナルへ一層の改善努力を推進

PMI 認定の有資格者のプロフェッショナルとしての信頼度を維持・向上  
適切なスキルを有した人材 (タレント) による組織運営  
有資格プロフェッショナルへの育成ツール

☆ 対象者：PMP®、PgMP®、PfMP®、PMI-PBA®      CCR 期間中に 60PDU の登録  
PMI-ACP®、PMI-RM®、PMI-SP®      CCR 期間中に 30PDU の登録  
の有資格者      [注]上記資格のいずれにも該当しないCAPM®は対象ではありません

PMI 認定資格	CCR 期間	更新時に必要な PDU 数
PMP® と PgMP® [プログラムマネジメント・プロフェッショナル]	3年	60PDU [PfMP, PMI-PBA, PMI-ACP, PMI-RM, PMI-SP 用の PDU は、 PMP と PgMP 用に全て同時カウントできる]
PfMP® [ポートフォリオマネジメント・プロフェッショナル]	3年	ポートフォリオマネジメントに関するトピックの「教育」、「ギブバック」で 60PDU
PMI-PBA® [PMI プロフェッショナル in ビジネス・アナリシス]	3年	ビジネス・アナリシスに関するトピックの「教育」、「ギブバック」で 60PDU
PMI-ACP® [PMI アジャイル認定実務者]	3年	アジャイル原論の「教育」とアジャイル実践「ギブバック」で 30PDU
PMI-RM® [PMI リスクマネジメント・プロフェッショナル]	3年	プロジェクト・リスクマネジメントに関するトピックの「教育」、「ギブバック」で 30PDU
PMI-SP® [PMI スケジューリング・プロフェッショナル]	3年	プロジェクト・スケジューリングに関するトピックの「教育」、「ギブバック」で 30PDU

☆ 適用日：表 1 を参照

移行期間 2015年12月 - 2017年11月

完全適用 2017年12月

☆ 変更： ・PMI タレント・トライアングルに基づいたサブ・カテゴリーの導入

タレント・トライアングル-><http://www.pmi.org/learning/talent-management-resources.aspx>

・①教育区分 (カテゴリー-A, B, C\*2) と②ギブバック区分 (カテゴリー-D, E, F\*3) の申請可能 PDU 数の内訳が変更される -> 教育区分が重視されます!

## 2015年12月から適用される新CCRの概要

2015年3月26日 4月1日(改訂)  
PMI日本支部事務局

- ☆ **新CCR [60PDU登録要の資格] : PMP®、PgMP®、PfMP®、PMI-PBA®の場合**
  - 現在 ②は45PDUまで (F: PM実務は最大15PDU) → ①で15PDUが必要
  - 新 ②は25PDUまで (F: PM実務は最大8PDU) → ①で35PDUが必要
  - ①のうち、PMIタレント・トライアングルに記載されたサブ・カテゴリー
    - 「リーダーシップ」 : 8PDU
    - 「テクニカル・プロジェクトマネジメント」 : 8PDU
    - 「ストラテジック&ビジネスマネジメント」 : 8PDUは必須
  - 残り11PDUはどのサブ・カテゴリーでも良い
- ☆ **新CCR [30PDUの登録要の資格] : PMI-ACP®、PMI-SP®、PMI-RM®の場合**
  - 新 ②は12PDUまで (F: PM実務は最大4PDU) → ①で18PDUが必要
  - ①のうち、PMIタレント・トライアングルに記載されたサブ・カテゴリー
    - 「リーダーシップ」 : 4PDU
    - 「テクニカル・プロジェクトマネジメント」 : 4PDU
    - 「ストラテジック&ビジネスマネジメント」 : 4PDUは必須
  - 残り6PDUはどのサブ・カテゴリーでも良い
- ☆ **まとめ**
  - ・ギブバック活動による申請可能PDU数は縮小される
  - ・教育提供者(大学含む)はサブ・カテゴリーを意識したコース開発、提供が必要となる
  - ・受講者はサブ・カテゴリーの受講PDU数を認識して受講する必要がある

表1 新CCR適用日

2015年12月1日	資格更新期限	
	2015.12.1 - 2017.11.30	2017.12.1以降
教育提供機関 (R.E.P.、支部) が PMI への申請時に、新CCRカテゴリー (サブ・カテゴリー) 分けを適用 [発行受講証明書にもサブ・カテゴリーを明記]	○	○
教育 PDU (A、B、C) については、サブ・カテゴリーに沿った PDU 区分を申請者が申請時に適用	×	○
ギブ・バック PDU (D、E、F) は、申請可能な最大 PDU 制限数を適用	×	○

# 2015年12月から適用される新CCRの概要

2015年3月26日 4月1日(改訂)  
PMI日本支部事務局



図1 : PMI 提唱のタレント・トライアングル

## \*2 : カテゴリー A, B, C [教育区分]

- A: 支部、PMI 登録教育機関 (R.E.P.)、CoP (PMI 認定のスタディー・グループ)
- B: 大学におけるプロジェクトマネジメント教育など
- C: 自習

## \*3 : カテゴリー D, E, F [ギブバック区分]

- D: PM 知財の新規開発など
- E: PMI のボランティア活動 (含む支部でのボランティア活動)
- F: PM 実務 (職場での PM 関連活動)

参照-> [https://www.pmi-japan.org/pmp\\_license/pdf/1103\\_ccr\\_guide.pdf](https://www.pmi-japan.org/pmp_license/pdf/1103_ccr_guide.pdf)

注) 参照で古い情報や廃止された情報がある場合、

PMI ウェブサイト (-> <http://www.pmi.org/certification/ccr-updates-pra.aspx>) の情報を正とする。

CAPM, PMP, PgMP, PfMP, PMI-PBA, PMI-ACP, PMI-RM, PMI-SP は Project Management Institute, Inc.の登録商標

以上

PMI 日本支部事務局